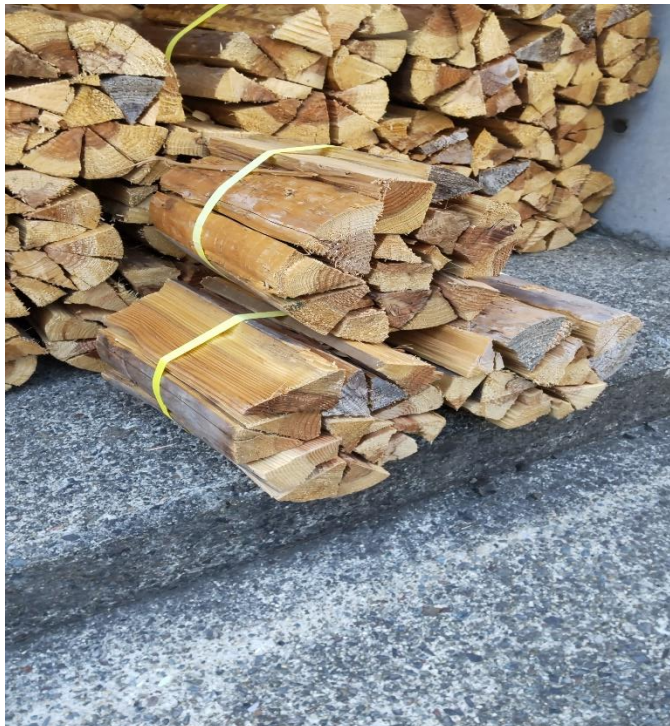


ボンファイア（たき火の集い）

概要	少人数向きの集い、自由な内容で花火やナイトウォークと組み合わせることでより充実します。			
目的	火を囲みながら、仲間との親睦を深めることを目的とします。			
諸条件	【時期】	4～10月	【対象】	どなたでも
	【人数】	30人以下	【所要時間】	90分程度
	【費用】	薪1束600円～	【会場】	キャンプ用テントサイト等
	【天候】	晴天のみ		
準備物	団体で準備する物 <input type="checkbox"/> ライター（マッチ） <input type="checkbox"/> 必要に応じて音楽（CD） <input type="checkbox"/> 軍手			
	鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> 消火用具 <input type="checkbox"/> CDデッキ付アンプ <input type="checkbox"/> コードリール			

	項目	内容	備考
入所前 （手順）	事前準備	<input type="checkbox"/> 薪組み係等の役割分担を決めます。	
当日 （手順）	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 16:30に受付前へ活動責任者・担当研修生は集合します。	<input type="checkbox"/> 資料1
		<input type="checkbox"/> 鴨青所員から道具を受け取り、説明を受けます。（薪組み係は軍手持参）	<input type="checkbox"/> 資料2
	活動中	<input type="checkbox"/> 儀式（静）→ゲーム（動）→儀式（静） ※儀式・ゲームの内容は団体にて計画（自由）	<input type="checkbox"/> 資料3
活動後	<input type="checkbox"/> 火の始末をします。（完全消火） <input type="checkbox"/> 貸し出し備品を事務室に返却します。 <input type="checkbox"/> 消火用具の返却をします。		
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 火による事故（火傷） <input type="checkbox"/> 木のささくれによる事故（切り傷、棘）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 火傷防止のため、火の管理（着火・消火）は活動責任者が行ってください。 <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は所員の指示に従ってください。		
実施判断	<input type="checkbox"/> 実施判断は、活動責任者が行ってください。 （雨天時、キャンドルサービスに変更できます。お気軽にご相談ください。）		
その他	<input type="checkbox"/> 活動時、外灯を消したい場合は、所員にお気軽にお声掛けください。		

①



野外炊事用の薪
を使用します！

竹で作った
手作りトーチ💧



②



消火用
角バケツ

③



消火用水💧
花火にも使えます！

資料2 薪の組み方・火の管理について

1. 薪の組み方・片づけ方

(1) 薪束（炊事用と同じもの）・木っ端の準備

薪（1束～）、焚き付け用木っ端を用い、専用台にセットし、
残った焚き付け用木っ端は活動中に火力を調節するために使用します。



(2) 着火

手作りのトーチ（儀式向き）やファイヤースターター（キャンプ向け）
などで着火します。

※引率者の指導と見守りがが必要です。



(3) 火の管理・処理

必ず引率者が行き、活動終了後も薪が燃え切っていない場合は
燃え尽きるまでは見張りを立ててください。

灰は消火用の角バケツ（図②）に集めて水を入れ完全消火します。



(4) 片付け

消火用バケツ内の水切りをして、灰捨て用ゴミ袋に入れて
ゴミステーションに捨ててください。

貸し出し備品を元の場所に戻し、事務室へ終了の連絡をお願いします。



資料3 ポンファイア展開例

第1部 迎火の集い

- ①集合 「中央を向いて、円を作って座ってください。」
- ②始まりの言葉 「ただいまより、ボンファイア（たき火の集い）を始めます。」
- ③火の神・子入場 「火の神・火の子が入場します。」※曲
- ④火の神の言葉 「私は、この鴨川の地に住む火の神である。
今宵は皆のため、灯を授けに降りてきた。考えてほしい。人々は灯を自由に扱えること
によって、このように発展を遂げてきたのだ。はるか昔、人々が灯を手に入れるのにど
んなに苦労してきたのか考えたことがあるだろうか。灯の存在は、決して当たり前の
ことではないのだ。私の授けるこの灯によって、『感謝の心』を思い起こしてほしい。そ
の心が豊かな心を育む。そして、その先には素晴らしい未来が待ち受けているだろう。
今宵が皆と、この地球の素晴らしい未来のための第一歩であることを願っている。」
- ⑤分火の儀式 「あなたに『健康の灯』を授ける」 「あなたに『自立の灯』を授ける」
「あなたに『感謝の灯』を授ける」 「あなたに『〇〇の灯』を授ける」
「私は健康に気を付け、毎日を元気に過ごします」等
- ⑥点火 「それでは、点火をお願いします。」点火後「皆さん、大きな拍手をお願いします。」
- ⑦歌 「燃え盛る炎を見つめながら、みんな『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう」

第2部 交流の集い

- ①出し物 「各班で考えたスタンプを披露しよう！」
- ②語らい 「一日を振り返ろう！そして、これから挑戦してみたい事を語り合おう」
「みんなで焼きマッシュマロを作って食べよう！」

第3部 送火の集い

- ①歌 「最初に、心を落ち着かせて『一日の終わり』を歌いましょう。」
- ②誓いの言葉 「次に、誓いの言葉を発表してもらいます。担当の人は前に出てください。」
- ③火の神の言葉 「皆、楽しめたでしょうか。今日、一人一人が様々な思いを持ったと思う。その思いを忘れ
ず、素晴らしい未来に向けて一步一步歩いてほしいと願っている。」
- ④採火 「それでは、採火を行います。」
- ⑤火の神・子退場 「火の神と火の子が退場します。」※曲
- ⑥終わりの言葉 「これで、ボンファイア（たき火の集い）を終わります。」
- ⑦解散 「〇班から、順番に退場していきましょう。」